

超高速ブロードバンド

未整備地区への対応は

答弁 概算事業費約14億6000万円、慎重に判断する



森本 せつこ 議員

未整備地区の皆様の強い要望がある。進捗状況は。

池田町長

町内の光ブロードバンド未整備地区に対して、技術的に整備ができない地域を除いて全域で整備を行うもので、民設民営方式により見積りを依頼していた業者から、5月末概算事業費は約14億6000万円と提示があったので、財源の確保が必要になる。

近年は携帯電話による通信や無線ブロードバンドの進化も加速している。その点も踏まえ、調整を行いな

がら慎重に判断していく。



中心市街地活性化事業計画と移住

森本議員

計画の中で「平成30年度中にいの町の住民・事業主等が出資する『いの街づくり(株)』を立ち上げ、平成30年度から官民協働による具体的な実施を図る」と記載されているが紙の博物館や土佐和紙工芸村との関係はどうなっているか。ギャラリー・コパの方向性は決

まっているか。また、二段階移住については。

森田産業経済課長

町には土佐和紙の振興に寄与する施設として土佐和紙工芸村、紙の博物館がある。土佐和紙工芸村は以前後継者育成に取り組んでいたが、現在は体験観光施設の拠点として観光客向けに紙漉き体験を実施している。紙の博物館は土佐和紙の歴史、原料・道具も含めた和紙の製造工程について学ぶ施設である。

新しい施設は、今まで町や商店街に来ることのなかった客層をターゲットに、わざわざ町に来てもらうための和紙の施設を想定している。ギャラリー・コパについては、平成31年度から閉館する予定だが方向性は決定していない。

池田町長

二段階移住では高知市での認定後、県内の3か所以上の市町村を巡ることが、補助金満額支給の支給条件となっている。

町では平成30年6月7日現在、二段階移住の認定を受けている2組の希望者から、移住相談を受けている。

町民の健康づくり

森本議員

高知家健康パスポートとは。また、補聴器購入の費用の負担を軽減することはできないか。

澁谷ほけん福祉課長

高知家健康パスポートとは楽しみながら健康な生活を始めるきっかけとなるもので、20歳以上の方が取得できる。平成30年4月17日現在の取得者はⅠが995人・Ⅱが245人・Ⅲが51人となっている。今後も、継続して健康づくりができる取り組みを行っていく。

補聴器の補助については、補装具費支給制度・いの町難聴児補聴器購入費助成事業がある。加齢などに伴い普通の会話が聞き取れず、閉じこもりがちになる

ことから健康を害する人に対して、支援や援助ができるよう対応していきたい。

南海トラフ地震に備える

森本議員

木造住宅耐震設計・改修、老朽住宅除却事業については。

土居総務課長

平成30年度は耐震診断100件、耐震設計・改修については50件の予算計上をしている。耐震事業については、国の交付金や県の補助金を活用しているが、平成30年度国の交付金が耐震診断100件分、耐震改修については12件分しか配分されていない。町としては地震の揺れ対策が大変重要なものと認識しているので、国費などをさらに配分してもらえよう国・県に対して要望していく。